

400 以上のウクライナ兵が保護を求めてロシアに越境

August 4, 2014

RT



400 以上のウクライナ兵士が、避難所を求めたあとで、国境を越えてロシアに入ることを許された。この国の東部でのキエフの軍事的崩壊に巻き込まれたウクライナ兵が、ロシアへ逃亡するのは、これが最初ではないが、最も規模の大きいものである。

ロストフ地区の国境警備隊スポークスマン Vasily Malaev によれば、ウクライナ側の国境警備隊員 162 人を含む総計 438 人の兵士が、日曜日の夜、ロシアへ越境することを許された。

ウクライナ兵の一人はロシアへ着いたとき、ひどく負傷しており、外科処置のために入院させたと高官筋は言っている。

他のウクライナ兵たちは、ロシア領に入った検問所近くに配備されたテント村に収容された。ロシア国境警備隊は彼らに食物と寝具を供給している。

現場で撮られたロシア・メディアによるフィルムは、ウクライナ兵士たちが食糧袋と仮宿舎での寝具などを与えられている様子を示している。カメラの前で話すことに同意した者た

ちは、何週間ぶりに初めて安全を得られてほっとしたと語った。

<http://t.co/b2v91q3FwI>

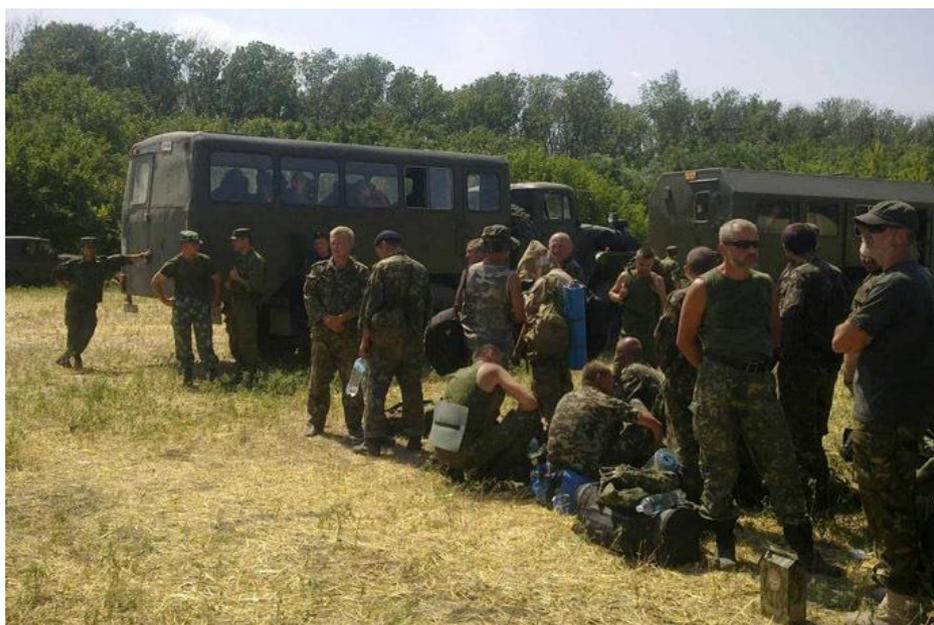
「我々は陣地を離れ、回廊を通してロシアへ行くように命令を受けました。安全は保障すると言われました。もちろん後ろから早く行くように言われました」と、兵士の一人が言った。彼は BMP（戦車）のドライバーで、名前は明かさず、カメラの前で顔さえ見せなかった。

「あっちはひどいものだった。暑くて、多くの死者がいるし、物は腐敗するし」と、別の兵士ドミートリは言った。「ここへきて皆休むことができます。体も洗わせてもらったし、新しい服ももらいました。みんな感謝しています。」

「我々は 6 か月以上もあの野戦場において、疲れ果てています」と彼は付け加えた。

もう一人の兵士ヤロスラフは、ウクライナの家族のところへ帰りたいたと言った。

「私は何か平和的な仕事がしたい。私の契約は 4 か月前に切れているのです」と彼は説明した。



日曜日に、ウクライナの反政府（親露）民兵団は、ルガンスク地区で、ウクライナ軍の降伏の可能性のある大きな分遣隊を包囲し、交渉していると報告してきた。この交渉は、彼らが武器を捨てる前に、彼らもっている 70 台ほどの戦車を破壊しようとしていた分遣隊の者

たちによって妨害されていた。民兵団はこれらの戦車を無傷のまま分捕ろうとしていた。

ウクライナの分遣隊がロシア領に入るのに用いたグコヴォの国境検問所は、ウクライナのルガンスク地区と境を接する所に位置しているため、この者たちが民兵団と交渉していた同じ者たちであることがわかった。そうだとすると、彼らが持っていた戦車が本当に破壊されたのかどうかはわからなかった。

ウクライナ軍部隊と国境警備隊からの逃亡者の流れは、キエフが武装した反政府民兵団と戦っているドネツク及びルガンスク地区の、ますます激しさを加える暴力の中で、だんだん増えていくように見える。

7月下旬には、41人のウクライナ兵士が、東ウクライナでの戦闘を放棄してロシアに逃れた（リンク）。彼らは今、戦闘のさなかに脱走したとして起訴されている。



いくつかのウクライナ分隊は、攻撃作戦を試みて失敗したあと、最近では、補給線を絶たれていると報告されている。このため彼らは、民兵団の支配する領域の背後、ロシア国境の近くに追い込まれた。

ウクライナ兵たちは、重火器をもつ点で民兵団にはるかに優っているのだが、輸送がほとんど途切れている。多くの兵士たちは、最前線での、食料や水のような基本的供給がないことに、不平を唱えている。この状況は、司令部から明らかな見捨てられることによって更に悪

化した——間違った物資を送られるとか、味方に撃たれるとか（リンク）、民兵団の反撃から逃げる時に置き去りにされるとか。

<http://www.youtube.com/watch?v=HEfjqlPuL4>

このユーチューブのビデオは、分隊の食糧補給がないため、あるウクライナ兵士が、蛇を捕まえて料理しなければならないと説明している様子だと言われる。

これは軍隊の士気にとって深刻な問題となる。そこで批判の声がますます高まって、ウクライナは事実上、歩兵をもたず、砲撃と空爆で、民兵団の支配する都市を壊すしかないのだ言われる。

ウクライナ人民の間に、軍事行動に対する反感が高まっており、最近の動員の動きに対しても、徴用兵の母親や妻が街に繰り出し、愛する者たちを兵隊に取るなという抗議デモがいくつか起こっている。